

御所湖随想

H29年9月 No.107

続報：町場地区園地の妙蓮

開花は9月12日でした。そして、日報の記事に載ったのが9月14日。記事を見ましたと言って、多くの方がそのお花‘妙蓮’を訪ねて町場地区園地に足を向けていただきましたが、やや期待外れだったとの声も聴きました。



‘妙蓮’に代りまして、弁明しますが、御所湖の夜の気温がお花に応えました。特に9月5日の2:00~6:30の気温は10℃を下回る寒さで、南国育ちの私には耐えるのがやっとでした。8月下旬は気温もやや高め、ツボミも膨らみかけていたので、開花を楽しみにしていた人も多く、IBCラジオ『684』での‘妙蓮’の紹介もあり、公園スタッフ一同も……。ところが、この日の最低気温は7.9℃。ツボミが一気に変色してしまいました。

慌ててビニール袋で囲いましたが、今年は花が開かずに終わってしまうかもしれないと半分あきらめかけました。それに追い打ちをかけたのが、12日の雨です。朝見ると、ツボミは池の縁石にもたれかかっておりました。膨らんだツボミが重すぎて茎で支えきれなくなったのでした。そこで支柱でツボミを支え、傘をさしかけて、取りあえず雨除けを行いました。しかし、午後になると風が強くなり、花卉が風に舞う？ようになりましたので、それこそ慌てて蓮池の周りに風除けを取り付けたのですが、風のいたずらでしょうか、いつの間にか開花していました。12日の昼過ぎまではツボミだったのですが…。



残念なことに、可憐な花は三日目には、外側の花卉が変色してしまいました。試練は続きます。台風18号です。霰石は強風が吹き荒れ、公園内の樹木も幹が折れるなどの被害を受けました。風除けをさらに嚴重にしたのですが、花びらは七、八枚程度散りました。



一般的なハスとは違い、花びらが散り難いため、変色した花びらがいつまでも残っています。なお、22日には朝の5時ころに最低気温が6.6℃まで下がってしまいました。今年はこちらまでです！

台風18号の翌日

9月22日の様子